

C'est TRÈS BON. Vol. 140

Boulangerie
C'est TRÈS BON

～おいしいパンの通信～

2016. 3. 30
Kaori Onishi

今回は、今いかに感じていることを書くかと思いつく。日本に居た頃は
 気づかずに過ごしてきた。フランスで生きてゆくことを決めて日本での
 生活すべてを整理してこちらに来て生活して働いていることが感じられるかと思いつく。私は日本人が
 特別な人ではないかと思いつく。フランスで感じるのは、個人主義だ。自分で良ければいい
 相手のことは考えず自分の主張、やりたいうことを通す。仕事の姿勢、価値感が違い、日本人の
 高い人が少ない。基本とされているべきでない。教育されていない(甘やかされているというが、日本人
 の子供はそれと反対)人の多い。日本において人に与る差はあるかと思いつく。フランスでは
 仕事が出来、志欲ある人でそうでない人の格差が大きい。そうでない人の多い気がする。それは人は
 ずいぶん。日本は精神性の根柢に血という先祖から受け継いだ日本人の心がある
 と思いつく。思いやり、相手のことを考え行動する。やるべきことは嫌なことをやり通す。
 おもてなしで誠実である。そういう人にもいるかと思いつく。多くの人が当たり前にお持
 ちで、日本人をこの世で探すのはとても難しいことだ。日本にいる時、トピソのトッポで
 働いている時、今回は持つて持っているたここの自分が作った枠があり、それをどうにか
 どうするかが当たり前。その人に人々を当てはめ、結局苦しいのは自分自身で、人はその人の
 成長のスピードがある。その人が必要な時に気づき、変わった心で居てもいい。今はその人は
 わかっている。その自分が置いておいた枠をはずすのは難しいことだ。今はそれをはずさない
 ことにしている。自分の中の当たり前だったことはそうではないかと思いつく。パンの売場のパン棚に
 する販売員、閉店ではないに残るパンを自分でよく帰るため捨てた。携帯をさりげなく
 向いている姿、ゴミを放置、おたすけ... 言いたせばきりない。日本では少しづつよくなったことだ。
 ちよと目線を変えて考えてみて下さい。みなさんが当たり前と思っていることは、みんながおいしいと思
 ったおいしいを持つて、その当たり前に行なわれているのであって、実は毎日感謝すべきことな
 りです。自分の作った枠をはずさないで生きていくのは難しいことだ。今は...
 よく人は病気になる。これはいつかある人がたまたま気づく。家族との関係であったり...
 私はトピソを離れる。日本を離れて改めて、トピソのスタッフのすばらしさと親友のあつた
 思っています。どんなにすばらしい人は恵まれ日本で仕事し毎日お人ほれたのか。毎日おきて
 当たり前すぎて気づかなくなりました。今奇跡かと思えない出会いと縁と、その感謝です。
 日本の時以上に大きな日々を過ごしています。特に精神的に、身体的にもです。
 よく泣いています。そして、どうすべきなのか。日本に帰りたい。そういう時、僕は語り合
 った。また思っているのは親友であるSさんと語り合っていることだ。トピソのスタッフの
 お人ほれ、お人ほれ、お人ほれ... そんなみんなの心が、トピソのみんなの前には
 心が折れないための支えです。場所は離れても、心はいつもそばにいます。絶対にそう... かな。